

一次研究用フォーム		データ記入欄	
基本情報	対象疾患	基底細胞癌	
	タイプ		
タイトル情報	論文の英語タイトル	Photodynamic therapy of residual or recurrent basal cell carcinoma after radiotherapy using topical 5-aminolevulinic acid or methylester animolivulinic acid	
	論文の日本語タイトル	放射線療法後の残存・再発性基底細胞癌に対するアミノレブリン酸を用いた光線力学療法	
診療ガイドライン情報	ガイドラインでの引用有無	1.有り 2.無し (1)	
	ガイドライン上での目次名称	BCCCQ17-8	
書誌情報	エビデンスのレベル分類	I. システマティック・レビュー／メタアナリシス II. 1 つ以上のランダム化比較試験 III. 非ランダム化比較試験 IV. 分析疫学的研究（コホート研究や症例対照研究） V. 記述研究（症例報告やケースシリーズ） VI. 患者データに基づかない、専門委員会や専門家個人の意見（ IV ）	
	Pubmed ID	11093368	
	医中誌 ID		
	雑誌名	Acta Oncologica	
	雑誌 ID		
	巻	39	
	号	5	
	ページ	605-609	
	ISSN ナンバー	pISSN: 0284-186X eISSN: 1651-226X	
	雑誌分野	1.医学 2.歯学 3.看護 4.その他 (1)	
	原本言語	1.日本語 2.英語 3.ドイツ語 4.その他 (2)	
	発行年月	2000	
著者情報		氏名	所属機関
	筆頭著者	Soler AN	The Norwegian Radium Hospital
	その他著者 1	Warloe T	
	その他著者 2	Tausio J	
	その他著者 3	Giercksky KE	
	その他著者 4		
	その他著者 5		
	その他著者 6		
	その他著者 7		

一次研究の 8 項目	目的	放射線療法後の残存・再発性基底細胞癌に対する光線力学療法の有用性を検討する	
	研究デザイン	後ろ向きコホート研究	
	セッティング	ノルウェーの 1 総合病院	
	対象者	放射線療法後に残存・再発した基底細胞癌 20 例 22 病巣（残存 6、再発 16）	
	対象者情報（国籍）	1.日本人 2.日本人以外 3.国籍区別せず （ 3 ）	
	対象者情報（性別）	1.男性 2.女性 3.男女区別せず （ 3 ）	
	対象者情報（年齢）	1.乳幼児 2.小児 3.青年 4.中高年 5.老人 6.乳幼児・小児 7.乳幼児・小児・青年 8.乳幼児・小児・青年・中高年 9.乳幼児・小児・青年・中高年・老人 10.小児・青年 11.小児・青年・中高年 12.小児・青年・中高年・老人 13.青年・中高年 14.青年・中高年・老人 15.中高年・老人 16.乳幼児・青年 17.乳幼児・中高年 18.乳幼児・老人 19.小児・中高年 20.小児・老人 21.青年・老人 22.年齢区別せず （ 14 ）	
	介入（要因曝露）	掻破後のアミノレプリン酸光線力学療法 1～5 回	
	エンドポイント（アウトカム）	エンドポイント	区分
	1	完全消退	1.主要 2.副次 3.その他（ 1 ）
	2	再々発	1.主要 2.副次 3.その他（ 1 ）
	3	整容効果	1.主要 2.副次 3.その他（ 2 ）
	4		1.主要 2.副次 3.その他（ ）
レビューワー コメント	主な結果	観察期間は最終治療後 6～40 ヲ月（平均 22 ヲ月）で、22 病巣中 18 病巣が完全消退（臨床的評価）。3 病巣が消退に至らず、1 病巣が 24 ヲ月後に再発。整容効果は完全消退例の内 15 病巣が“excellent”、3 病巣が“good”。	
	結論	放射線療法後の残存・再発基底細胞癌に対して光線力学療法は有用であった。	
	備考		
レビューワー氏名	レビューワー氏名	竹之内辰也	
	レビューワーコメント	エビデンスのレベル分類（IV） 残存・再発病変に対する初期目標としての完全消退は良好な結果が得られているが、“完全消退”が臨床的な評価であることには注意が必要。 症例数はやや少ないが、詳細に長期観察しており、後ろ向きコホート研究に準ずるレベルのものと評価した。	